

令和5年度 事業報告

1 新型コロナウイルス感染症は、令和5年5月8日から第5類感染症とされました。

ただし、完全に新型コロナウイルスの感染がなくなったわけではないため、感染対策を講じながら事業を進めてきました。

日身連福祉大会（わかやま大会）も、通常の大大会の招集は中止とし、代わりにWEB配信での開催となりました。

当協会では、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、予定されていた会議、大会、研修会などの開催を可能な限り安全面に配慮しながら実施してきました。

ただし、一部では書面による会議に変更や開催中止の対応を取りました。

また、元旦には能登半島地震が発生し、最大で震度7の揺れを観測しました。

令和6年4月現在も、石川県の奥能登地域では水道などのインフラ設備に大きな被害があり、復旧やがれきの撤去が進まず、今後の復興が課題となっています。

コロナ禍以降5年ぶりの対面での開催が予定されていた「第69回日本身体障害者福祉大会いしかわ大会」も、既に石川県内の甚大な被害により開催中止の知らせを受けています。

2 県との懇談会（県行政への要望）

知事との懇談会

令和5年10月13日に開催し、知事に障害6団体の「要望書」をお渡し、文書による回答を得ました。

知事退席後に、健康福祉部長と懇談する時間がありましたので、部長との別途懇談会は中止しました。

3 障がい者福祉団体地域連絡会議の開催

令和5年8月、9月に、県下4地区で、講師として県の職員にご参加いただき、令和5年度に策定見直し予定の「長野県障がい者プラン」についての説明等をいただくとともに、当面する諸課題について協議するための、障がい者福祉6団体の代表者による地域連絡会議を開催しました。

第1 身体障がい者福祉推進のための活動

1 長野県阿部知事と障がい者福祉団体長との懇談会の実施

令和5年10月13日(金)午後2時10分から長野県庁で開催しました。

要望者 当協会の小林理事長(兼県障がい者社会参加推進協議会長)、
視覚障害者福祉協会理事長、聴覚障害者協会事務局長、肢体不自由児者父母の会連合会会長、手をつなぐ育成会会長、精神保健福祉会連合会理事長
計6団体

要望事項

- ① 「共生社会」を実現するための、「社会的障壁」の除去
- ② ヘルプマーク制度とパーキングパーミット制度に関する県民への周知と改善
- ③ 「障害者情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」
- ④ 「障がいのある人もない人も共に生きる長野県づくり条例」
- ⑤ 歩道における視覚障害者と自転車との接触事故ゼロを目指して、県民への周知を強化
- ⑥ 学齢期終了後の成人移行後の医療型肢体不自由者入所施設の確保と増床を希望
- ⑦ 真のインクルーシブ教育体制への第一歩

2 健康福祉部長と身体障害者福祉協会との懇談会

令和5年度の健康福祉部長との懇談会は、10月に開催した知事懇談会で、知事退席後に部長との懇談時間がとれたために、開催を中止しました。

第2 相談員の研修事業

1 長野県身体障害者相談員研修会の開催

7月28日(金)松本市総合福祉センターで開催しました。講師として、県障がい者支援課共生社会づくり推進員の馬場美保氏に、「共生する社会の実現に向けて～長野県障がい者共生条例～」をテーマとして講演をいただき、活発な質疑・意見交換を行いました。

2 関東甲信越静岡ブロック身体障害者相談員研修会の参加

群馬県で9月27日(水)にWEB配信で開催されました。

第3 身体障がい者の福祉に関する啓発等の事業

1 第73回県身体障害者福祉大会の開催

令和5年度からは、長野県社会福祉協議会で実施しています、長野県社会福祉大会「ふっころフェスティバル」に併催として参加し「長野県身体障害者福祉大会」を継続し開催することができました。

表彰式会場は、松本市の四柱神社で開催し、6名の受賞者のうち2名が参加されました。

他の行事につきましては、松本市のイオンモール松本で実施されました。

令和6年度も開催時期は、11月の介護の日前後となる予定です。

2 機関紙「こころの友」の発行

情報を伝え、仲間の声を伝える機関紙として、読み易い紙面と内容の充実に努め、年2回発行（7月20日と1月15日）しました。

発行部数 7,400部（令和6年1月15日発行部数）

3 ホームページの活用

県身障協会の情報提供の場として、障害者以外の方にも理解いただくために最新の情報を提供すると共に、郡市協会発行の会報の掲載も行いました。

4 日身連機関紙等の配布について

希望する会員に対しては、日本身体障害者団体連合会の機関紙、自動車用ステッカーを配布しました。自動車用ステッカーは、県のパーキングパーミット制度の創設により障害者用駐車スペースの証明には使えなくなりましたが、障害者が乗車する自動車である目印として、引き続き希望者に有料で配布しています。

第4 社会参加促進等の事業

1 障がい者社会参加推進センターの運営（県委託事業）

県及び障がい者福祉団体と連携・協力のうえ、次の事業を実施しました。

障がい者福祉団体

（福）長野県身体障害者福祉協会

- (福) 長野県視覚障害者福祉協会
- (福) 長野県聴覚障害者協会
- 長野県肢体不自由児者父母の会連合会
- (福) 長野県手をつなぐ育成会
- (特定非営利法人) 長野県精神保健福祉会連合会

<p>○障がい者福祉団体地域連絡会議</p>	<p>県においては、現在県の基本計画である「障がい者プラン2018」を柱として、各種施策を展開しています。今年度次期障がい者プランの策定時期となり、現在の取組の評価や今後の課題を検討すべき時期となっています。この機会を適切に捉えるため、次期プラン策定に関する県の考え方や現状の諸課題について情報共有し、今後の障がい者施策について議論するため、障がい者福祉団体代表者による地域連絡会議を開催しました。</p> <p>(開催日時・場所等)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 令和5年8月24日(木) 場所：千曲市社会福祉協議会大ホール 2 令和5年9月1日(金) 場所：松本市総合福祉センター 3 令和5年9月6日(水) 場所：伊那市福祉まちづくりセンター 4 令和5年9月15日(金) 場所：長野市若里市民文化ホール <p>講師：(4会場とも)</p> <p>長野県健康福祉部障がい者支援課 企画幹兼課長補佐兼管理係長 山本 哲也 氏</p> <p>長野県健康福祉部障がい者支援課 管理係主査 前田 雅幸 氏</p>
------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

2 健康教室

例年、郡市町村身障協会が主催となって県下で開催されており、開催経費に対して当協会が助成しています。令和5年度は長野市、木曾郡、大町市、佐久市の4地区で開催されました。

健康教室の内容は、講演会、運動、ボッチャ競技の体験など、仲間との交流づくりや会員の健康増進を図ることが目的です。

3 障がい者文化芸術祭等への参加

- (1) 令和5年9月23日(土)～24日(日)に、サンアップル(長野市下駒沢)で、「第26回長野県障がい者文化芸術祭」が開催されました。

新型コロナウイルス感染対策のため、オープニングセレモニーは中止となりましたが、ステージイベントやバザー、クラフト体験会、作品展及び川柳展の一般観覧は実施されました。

- (2) 第38回障害者による書道・写真全国コンテスト(公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会主催)が開催されました。

長野県からは、2点の応募がありました。

第5 研修会・大会等の開催及び参加

1 日身連主催大会・協議会への参加

区 分	期 日	会 場	備考
第68回日本身体障害者福祉大会 わかやま大会	6月16日(金)	日身連	WEB配信
春期関東甲信越静ブロック協議会 団体長会議	6月29日(木)	山梨県	参加
秋期関東甲信越静ブロック協議会 代表者会議	11月1日(水)～ 2日(木)	千葉県	参加

2 日身連主催相談員研修会

区 分	期 日	会 場	備考
障害者110番事業研修会	12月20日(水)	WEB	限定配信
関東甲信越静ブロック相談員研修会	9月27日(水)	WEB	動画配信

第6 長野県盲人福祉センター（上田点字図書館）の運営

県身障協会では、上田点字図書館の運営を上田市に委託しており、県内はもとより全国に図書館の貸出しを行うとともに、点訳奉仕者、デイジー編集奉仕者の指導育成も行いました。

【令和6年3月31日現在】

区 分	点 字 図 書	デジタル図書	開館 日数	盲導犬 貸与数
蔵 書 数	13,497 部門 39,702 冊	7,174 タイトル	243 日	2 頭
登録読者数	291 名 (県内 153 名) (県外 138 名)	230 名		
貸出延人数	1,253 名 (県内 547 名) (県外 706 名)	1,852 名		
貸出延冊数	2,504 冊 (県内 930 冊) (県外 1,574 冊)	2,970 枚		

第7 収益事業の実施

日身連収益事業所、株式会社和田正及び郡市町村身体障害者福祉協会の協力により、次のとおり収益事業を実施しました。

収 益 事 業	還 元 金	備 考
家 庭 生 活 用 品	1,107,122 円	
煎 茶	293,760 円	
そ う め ん 他	9,323 円	
オ ー ト バ ッ ク ス	6,969 円	
計	1,417,174 円	

(注) 還元金には、市町村身障協会の還元金も含まれています。

長野県身体障害者福祉協会の還元金収入は、

総 額	1,417,174 円
△ 市町村還元金	432,453 円
△ 振込手数料	6,636 円
	<hr/>
	978,085 円

となります。